

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就業支援専門 ていーせる		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日	2025.01.01~01.31	2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	53名	(回答者数) 31名
○従業者評価実施期間	2024年12月10日	2025.01.01~01.31	2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学習を柱とした支援で、小学生から高校生まで幅広く偏りのないこどもに対応できていること。	学習習慣がつくことで集中力、忍耐力が増えています。 職員1人当たり最大4名までの少人数制で、きめ細やかな個別指導をしています。	保護者から学習についての要望があれば、計画書を基本にしなが内容を柔軟に見直しながら支援していきます。
2	学習支援は勿論、他にも充実した支援を提供できていること。	勉強だけでなく、作業や運動等で受検校の詳細を網羅した上で、幅広い受験対策ができるよう工夫しています。	保護者を含む利用者様からのフィードバックを重視して、個別支援計画や普段の学習にもその都度取り入れていきます。
3	学習時間が長く個別計画にそった支援を意識的に行っていること。	計画書を軸に職員全員が共通した意識のもと、支援しています。 専門職員によるソーシャルスキルトレーニングを行なっています。	従来よりも更に保護者との面談の機会を設けてきめ細やかな対応をしていきます。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていること。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていること。	保護者の方のニーズがあまりなかったこと。 過去にコミュニティサイトを作ったことがあるが活発ではなかったこと。	保護者の方からのご要望の声によってどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があること。	生徒や保護者の方から地域の子どもの交流はニーズがあまりなかったこと。	生徒や保護者の方からのご要望の声によってどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていること。	どのように始めていこうか検討段階であったこと。 今年度の夏休み中に初めて授業参観をおこなったため、保護者の方にイベントが定着していなかったこと。	主に長期休暇時に授業参観を行う予定です。 何度も開催をすることで保護者の方にも周知をし、参加を促していきます。

公表

放課後等デイサービス評価表

事業所名	就業支援専門 ていーせる	公表日	2025年3月30日
		利用児童数	53名
		回収数	31名

	チェック項目	利用児童数				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	22	8	0	1		お子様の活動スペースを整頓することで十分に広さを確保できるような工夫をしています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	22	3	0	6		職員一人一人がお子様に対してしっかりと関わることを意識し、安心して通っていただけるようにします。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構成された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	20	7	0	4		勉強に集中することができる勉強ブースを活用することで学習環境を整えています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	25	3	0	3		お子様と共に行動する時間に落書きや汚れを確認し、常に心地よく過ごすことが出来る環境を整えています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	2	0	3		必要に応じて施設で可能な対応を一緒に考えていきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	26	1	0	4		http://teildayofficial.jp/gazou/shien.pdf で公開をしています。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	27	1	0	2		お子様一人一人の学力や気持ちや学校での様子、保護者の方の思いなどを総合的に確認しながら個別支援計画の作成を進めています。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	27	2	0	1		適切な設定と具体的な支援内容の設定に努めています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	29	2	0	0		お子様一人一人の成長と保護者の方の思いを考え支援を行っています。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21	3	1	6		学習の支援手法についてお子様一人一人の目標達成のために必要だと思われる方法で進めていくことで固定化されないように進めています。 例えば集団で行う、個別で行う、お子様同士で行うなど、またSSTでも話し合う・発表する・話を聞くなどを行っています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	2	9	12		現在お子様や保護者の方から地域の子どもとの交流はニーズとして少ないため、ご要望が集まり次第検討を行います。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	30	1	0	0		保護者の方からの質問に対して丁寧に回答を行うことを意識していきます 不明なことがあればお気軽にご連絡ください。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	26	3	2	0		保護者の方からの質問に対して丁寧に回答を行うことを意識していきます 不明なことがあればお気軽にご連絡ください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていますか。	12	4	3	12	・ペアレントトレーニングや研修情報はぜひ頂きたいです。	今年度から授業参観を始めました。 主に長期休暇の実施になります。 希望の方は是非参加いただき、お子様の頑張っている様子をご覧ください。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	25	5	1	0	・こちらからトラブル時は連絡しますが、その他何を伝えるかよくわかっていません。 ・LINEの報告内容が固定している気がする	お子様の様子で何か気になる点がございましたら、お気軽にご連絡ください。
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19	2	4	6	・トラブル時に対応はありますが、それ以外はないため、よくわかっていません。	定期的な面談を行うことにより情報共有を行っています。 お子様や保護者の方の気持ちを考えながら支援を行っております。 至らない点がございましたら、解決策を一緒に考えていきたいと思っております。お気軽にご連絡ください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	3	0	2	・保護者同士の交流やイベントがあったらいいと思います。	今年度から授業参観を始めました。 ご家族の方の交流も望まれる方、望まれない方がいらっしゃらるため、必要に応じて授業参観の場を通じて交流をしていただけますと幸いです。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	3	2	11	12		Lineで一斉送信で相談を受け付けていることでの連絡を行っています。 ご連絡がありましたら、基本的にすぐ日程調整を行い対応をしております。 お子様からの相談にはその都度調整をし、職員に相談を行うことができる体制を整えております。また必要に応じてこちらから声掛けを行っています。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	4	0	5		意志の疎通や情報伝達の方法を電話・対面・Lineなど複数用意することで配慮をしています。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	26	1	0	0		毎月「ていーせる通信」を配信し、情報発信を行っています。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	20	0	1	6		個人情報取り扱いには十分注意し、今後は連絡欄の送信間違えがないように十分注意をします。 気づいた際にすぐにご連絡・削除のご対応をいただきありがとうございます。
	22 個人情報の取り扱いに十分に留意されていると思いますか。	22	0	0	5		毎月社内研修を実施することで訓練を行っています。 マニュアルなどについては今後、施設内への掲示を行います。 緊急時には保護者の方へ連絡する可能性が高いため、緊急連絡先が変更になった際は、ご連絡をお願いします。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15	3	0	9	・訓練は分らないです	避難訓練は長期休暇に行っております。 避難訓練を行う日のご利用があった場合はお子様に参加いただきますので、ご了承ください。 計画については今後、施設内への掲示を行います。 安全の確保を行い、支援を実施しています。
非 常 時 等 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	2	2	10		緊急性の高い事故（怪我）については速やかに保護者の方へ電話・Lineを行います。 緊急性の低い怪我については送迎時に職員からの説明やお子様本人から保護者の方へ伝えてもらうようにしています。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	5	0	8		勉強に対して前向きに取り組むことが出来る子もいれば嫌だと思ってしまう子もいます。 その気持ちは受け止めつつ、本人がいずれ気が付くことができるように職員は勉強をしないといけないのかを声掛けていきます。 何のために勉強を行うのか、目標を一緒に決めお子様が主体的に勉強を行うことができるようこれからも支援を行っています。 時には気持ちの行かぬ時期も出てくるかもしれませんが、温かい気持ちでお子様の成長を見守っていただけたらと思います。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	2	1	5		
満 足 度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	26	0	0	1		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	20	6	0	1		

29	事業所の支援に満足していますか。	24	3	0	0	<p>・支援学校では行っていない学習内容を支援して頂いてとても感謝しております。 ・いつも助かっています。ありがとうございます！</p>	<p>遊ぶ場所・リラックスする場所ではありませんが、たくさんの方が通うことを楽しみ 思ってもらっていることを嬉しく思います。 これからも楽しく勉強ができるように取り組んでいきますので、今後ともよろしくお願 いします！</p>
----	------------------	----	---	---	---	--	--

	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	就業支援専門 ていーせる	公表日 2025年3月30日
------	--------------	----------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	全体が目が届く広さになっており、生徒の様子が見やすくなっています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	4	子どもの状態を把握するため職員ミーティングに力を入れることで、生徒一人一人の行動の解像度を高める取り組みをしています。	・子ども一人一人を見ることができるよう職員の色位置などを注意していく。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	一人一人の学習スペース・集団の学習スペース・個室の学習スペースなど環境配慮ができるようになっています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎営業時生徒と一緒に清掃時間を設けることでスペースの確保ができるようにしています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	認められています。 また、悩み相談を行う際も必要に応じて使用をしています。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	職員ミーティングを行うことで全職員が業務改善を意識している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの評価を確認することで業務を振り返っている。 職員ミーティングを行うことで保護者の声を業務改善に繋げています。	
	8 職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員ミーティングを行うことで活発に意見交換を行うことで業務改善に繋がっています。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	社長による評価をいただき、業務改善に努めています。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	支援の質向上のため毎月社内研修を実施、その都度社外研修に参加をしています。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成をし公表をしています。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	ニーズや課題を常に保護者の方と話すことで、支援時に生徒に直接確認をしたり、意識をしながら様子を確認したりしています。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	全職員で課題を話し合うことで共通理解をしながら最善の利益を考慮し作成をしている。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	一人一人に個人勉強用ファイルを作成することで計画や保護者の方からの要望のあった支援を行うことができるようにしている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	適応行動の状況を常に確認をしている。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	生徒本人の最善の利益を考え項目の設定に努めております。 関わる方の思いも出来る限り取り入れることができるように努めております。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	全職員で支援内容や方向性についてチームで行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	学習の支援手法についてお子様一人一人の目標達成のために必要だと思われる方法で進めていくことで固定化されないように進めています。 例えば集団で行う、個別で行う、お子様同士で行うなど、またSSTでも話し合う・発表する・話を聞くなどを行っています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	生徒の目標に合わせて勉強時間・休憩時間・SSTの時間に個別・集団活動を組み合わせて実施をしています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	職員ミーティングを行っております。 支援時間中も連携を意識し、生徒の学力向上に努めています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終業時間の関係で翌日に行っています。 翌日が休みの職員がいる場合は他の職員への引継ぎや連絡ツールで記録を残します。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	社内連絡ツールを活用することで、記録を残しています。 どのような支援があったのかを共有し、生徒ごとに何を意識して勉強を教えるのかを考えています。	
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	支援計画の更新時（3カ月に1回）にモニタリングを行い、状況の確認を行った上で支援計画の更新をしています。		
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0	自立支援と日常生活の充実のための活動では、自立や日常生活に必要な学力や社会的・生活的スキルを身に付ける活動を行っています。 創作活動では、作文・ペーパークラフトを作る・絵を書くことなどを行っています。 地域交流の機会の提供では、地域の方へ挨拶をしたり、地域の公園を活用して運動をしたりする活動をしています。 余暇の提供では、休憩時間中に他用と話したり、カルタなどのルールのあるゲームをしたりする活動をしています。 組み合わせる活動をするので、生徒が飽きない工夫をしています。		

関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4	0	年齢の低い生徒には、選択肢を出して選んでもらうことで自己決定をできるようにしています。 年齢の高い生徒には、自身で学習計画を立てることで自己決定の練習をしています。 SSTで話し合う時間では、自分の意見を言う機会を多く設けています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	参加をしています。 参加後は共有することで全職員が把握できるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	支援体制を整えています。 また検査結果なども確認することで、支援に活かすことができている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	利用日を共有している学校もあります。 要望があればその学校にも共有をしたいと思います。 学校の先生が生徒の様子を見ていただいたり面談をすることで情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4	現在まだ要望がないため、実施ができていません。	・各機関からの就学前の情報はなためあると良い。 ・他機関との情報共有があると視野が広がります。 ・就学前に各機関との情報共有が不十分のため連携取れるようにしていきたい。 ・就学前の情報提供があると児童への支援の幅が広がるかもしれない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	要望があったところへは情報提供を行っています。	・まだ入社して間もないため分らないが、実施していきたい。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	今年は実施が出来なかったのですが、今後は是非実施していきたいと考えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもも活動する機会があるか。	1	4	放課後児童クラブへのお迎え時に交流があります。	・外部との交流の機会はないが、保護者からの要望もあるため今後考えたいです。 ・外部の交流がないので機会があれば出来たらいいと思います。 ・外部との交流機会があると新しい支援のヒントになりそうです。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	積極的に参加をしています。 また同じ職員だけにならないように全職員が行けるよう配慮をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時・Line・電話などで共有を行っています。 共通理解があると感じています。	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4	今年度から授業参観を始め、主に長期休暇に行っています。 希望の方は是非参加いただき、生徒の頑張っている様子を見てもらいたいです。	・保護者からの要望があるためこのような機会があると良いです。 ・家族や保護者向けにプログラムを設けることで、職員も気付きや学びがあると思います。 ・家族等が参加できるイベント機会や情報共有する場を提供していきたいです。 ・家族が参加できるイベントの機会があると職員との共通理解が深まると思います。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	丁寧な説明が出来るように努めています。 質問なども随時受け付けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	送迎時・Line・電話などで共有を行っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画の内容が保護者の要望に合うものになるように作成を行うようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者の方から要望があった際は面談や送迎時に詳細を確認することで助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	授業参観を行うことで保護者が関われるような機会を提供しています。	・個々の保護者面談はあるが保護者同士の交流を授業参観などで設ける事で、これからの支援に際して新たに気づける事があると思います。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった際は迅速に状況の確認を行い、保護者の方へ対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	「ていーせる通信」を毎月配信することで情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の取り扱いに注意を行っています。 個人情報を鍵付きの棚に保管を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	意志の疎通や情報伝達の方法を電話・対面・Lineなど複数用意することで配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	保護者のニーズがある場合は対応を検討したいです。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	毎月社内研修を実施することで訓練を行っております。 マニュアルなどについては今後、施設内への掲示を行います。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	社内研修を通じて必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	フェイスシートを確認を行い、詳細については契約時に保護者の方から確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	0	5	現在保護者の指示書をいたる例がないが、もしあった場合は対応していきたいと考えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	マニュアルを作成し、安全管理を行っています。	
51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携を図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全確保について保護者の方と連絡をとることができるようにしていきます。		

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットをその都度、職員間で共有を行い毎月社長と他事業所に報告を上げることで再発防止に取り組んでいます。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止研修を実施することで生徒に対しての支援を考えることができます。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束研修を行うことで、身体拘束に対する知識身に付けています。また、身体拘束を行う可能性がある生徒が入る場合は保護者に確認を行います。	

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	就業支援専門ていーせる つつみ		
○保護者評価実施期間	2024年12月10日		2024年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	49名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	2024年12月10日		2024年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていること。	今年度、特に意識をして職員一同取り組みました。私たちが保護者の方とお子様の共通理解ができていると感じています。	これからもその都度送迎時やLineなどで共有いただけますと幸いです。
2	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていること。	保護者の方とのやり取りを大切に考えております。保護者の方の思いが満たされるように生徒一人一人にどのようなアプローチをしたほうがよいか常に考えながら支援に当たっております。	悩まれていることがあればその都度面談を行うことができるため、ご連絡いただけますと幸いです。
3	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されること。	保護者の方とのやり取りを大切に考えております。保護者の方の思いと生徒の思いを考え、ていーせるで行うことができる内容を考えております。学校の先生とのやりとりも重視しており、送迎時や面談の機会を設けることで生徒の最善の利益になるように作成を行います。	お子様一人一人の学力や気持ちや学校での様子、保護者の方の思いなどを総合的に確認しながら個別支援計画の作成を進めています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていること。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていること。	保護者の方のニーズがあまりなかったこと。過去にコミュニティサイトを作ったことがあるが活発ではなかったこと。	保護者の方からのご要望の声によってどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。
2	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があること。	生徒や保護者の方から地域の子どもの交流はニーズがあまりなかったこと。	生徒や保護者の方からのご要望の声によってどのような形で行うことがよいか検討をしていきます。
3	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていること。	どのように始めていこうか検討段階であったこと。今年度の夏休み中に初めて授業参観をおこなったため、保護者の方にイベントが定着していなかったこと。	主に長期休暇時に授業参観を行う予定です。何度も開催をすることで保護者の方にも周知をし、参加を促していきます。

公表

放課後等デイサービス評価表

事業所名		公表日				利用児童数		回収数	
就業支援専門ていーせる つつみ		2025年3月5日				49名		37名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・体制整備	1	24	6	1	4	学習しやすいと思います。勉強メイン。利用人数に対して、広さは足りないように思います。	お子様の活動スペースを整頓することで十分に広さを確保できるような工夫をしていきます。		
	2	22	4	0	9	いつも丁寧な対応をありがとうございます。	職員一人一人がお客様に対してしっかりと関わることを意識し、安心して通っていただけるようにします。		
	3	25	5	0	5		勉強に集中することができる勉強ブースを活用することで学習環境を整えています。		
	4	31	1	0	3		お子様と共に清掃の時間に落書きや汚れを確認し、常に心地よく過ごすことが出来る環境を整えていきます。		
適切な支援の提供	5	33	2	0	0	その時の子どもの気持ちに寄り添って個室の部屋を使わせてくださりありがとうございます。	必要に応じて当施設で可能な対応を一緒に考えていきます。		
	6	31	1	0	3		http://tcellday.official.jp/gazou/shien.pdf で公開しております。		
	7	34	1	0	0		お子様一人一人の学力や気持ちや学校の様子、保護者の方の思いなどを総合的に確認しながら個別支援計画の作成を進めていきます。		
	8	29	1	0	4		適切な設定と具体的な支援内容の設定に努めていきます。		
	9	35	0	0	0	一人一人に合わせて支援してくださっていると思います。	お子様一人一人の成長と保護者の方の思いを考え支援を行っていきます。		
	10	29	4	0	2		学習の支援手法についてお子様一人一人の目標達成のために必要と思われる方法で進めていくことで固定化されないように進めています。例えば集団で行う、個別で行う、お子様同士で行うなど。またSSTでも話し合う・発表する・話を聞くなどを行っています。		
	11	9	5	4	17		現在お子様や保護者の方から地域の子どもの交流はニーズとして少ないため、ご要望が集まり次第検討を行います。		
保護者への説明等	12	31	2	0	2		保護者の方からの質問に対して丁寧に対応を行うことを意識していきます。不明なことがあればお気軽にご連絡ください。		
	13	30	1	0	3		保護者の方からの質問に対して丁寧に対応を行うことを意識していきます。不明なことがあればお気軽にご連絡ください。		
	14	19	8	0	8		今年度から授業参観を始めました。主に長期休暇の実施になります。希望の方は是非参加いただき、お子様の頑張っている様子をご覧ください。		
	15	35	0	0	0		今年度、特に意識して職員一同取り組みました。私たちが保護者の方とお子様の共通理解ができていると感じています。これからもその都度送迎時やLineなどで共有いただけますと幸いです。		
	16	30	1	1	2		面談については随時対応しております。お子様のことで気になることがございましたら、お気軽にご連絡ください。		
	17	32	0	0	2		お子様や保護者の方の気持ちを考えながら支援を行っております。至らないことがございましたら、解決策を一緒に考えていきたいと思っております。お気軽にご連絡ください。		
	18	5	6	8	16		今年度から授業参観を始めました。ご家族の方の交流も望まれる方・望まれない方がいらっしゃるため、必要に応じて授業参観の場を通じて交流をしていただけますと幸いです。		
	19	28	0	0	3		Lineの一言送信で相談を受け付けていることをご連絡を行っています。ご連絡がありましたら、基本的にすぐ日程調整を行い対応しております。お子様からの相談にはその都度調整をし、職員に相談を行うことができる体制を整えております。また必要に応じこちらから声掛けを行っています。		
	20	29	2	0	1		意志の疎通や情報伝達の方法を電話・対面・Lineなど複数用意をすることで配慮をしています。		
	21	23	1	1	7		毎月「ていーせる通信」を配信し、情報発信を行っています。		
非常時等の対応	22	23	1	1	7		個人情報の取り扱いには十分注意し、今後は連絡欄の送信間違えないように十分注意をします。気づいた際にすぐにご連絡・削除のご対応をいただきありがとうございます。		
	23	20	1	1	9		毎月社内研修を実施することで訓練を行っております。マニュアルなどについては今後、施設内への掲示を行います。緊急時には保護者の方へ連絡する可能性が非常に高いため、緊急連絡先が変更になった際は、ご連絡をお願いします。		
	24	20	1	0	10		避難訓練は長期休暇に行っております。避難訓練を行う日のご利用があった場合はお子様に参加いただけますので、ご了承ください。		
	25	21	1	0	9		計画については今後、施設内への掲示を行います。安全の確保を行い、支援を実施しています。		

応	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	0	10	緊急性の高い事故（怪我）については速やかに保護者の方へ電話・Lineを行います。 緊急性の低い怪我については送迎時に職員からの説明やお子様本人から保護者の方へ伝えてもらうようにしています。
満足度	27	ごどもは安心感をもって通所していますか。	30	1	0	1	勉強に対して前向きに取り組むことが出来る子もいれば嫌だと思ってしまう子もいます。 その気持ちは受け止めつつ、本人がいづれ気が付くことができるように職員はなぜ勉強をしないといけないのかを声掛けしていきます。
	28	ごどもは通所を楽しみにしていますか。	26	3	2	1	何のために勉強を行うのか、目標を一緒に決めお子様が主体的に勉強を行うことができるようこれからも支援を行っていきます。 時には気持ちがのらざりたくないと思ってしまう気持ちが出るかもしれませんが、温かい気持ちでお子様の成長を見守っていただけたらと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	30	1	0	1	いつも助けていただきありがとうございます。 実践的なお金の使い方・お金の価値・お金の計算を希望。 遊ぶ場所・リラックスする場所ではありませんが、たくさんの方が通うことを楽しみ思ってもらっていることを嬉しく思います。 これからも楽しく勉強ができるよう取り組んでいきますので、今後ともよろしく願います！

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	就業支援専門ていーせる つつみ				公表日	2025年3月5日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	全体に目が届く広さになっており、生徒の様子が見やすくなっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	子どもの状態を把握するため職員ミーティングに力を入れることで、生徒一人一人の行動の解像度を高める取り組みをしています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	一人一人の学習スペース・集団の学習スペース・個室の学習スペースなど環境配慮ができるようになっています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	毎営業時生徒と一緒に清掃時間を設けることでスペースの確保ができるようにしています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	認められています。 また、悩み相談を行う際も必要に応じて使用をしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	職員ミーティングを行うことで全職員が業務改善を意識している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの評価を確認することで業務を振り返っている。 職員ミーティングを行うことで保護者の声を業務改善に繋げています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	職員ミーティングを行うことで活発に意見交換を行うことで業務改善に繋げています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	社長による評価をいただき、業務改善に努めています。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	支援の質向上のため毎月社内研修を実施、その都度社外研修に参加をしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	支援プログラムを作成をし公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	ニーズや課題を常に保護者の方と話すことで、支援時に生徒に直接確認をしたり、意識をしながら様子を確認したりしています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	全職員で課題を話し合うことで共通理解をしながら最善の利益を考慮し作成をしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	一人一人に個人勉強用ファイルを作成することで計画や保護者の方からの要望のあった支援を行うことができるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	適応行動の状況を常に確認をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	生徒本人の最善の利益を考え項目の設定に努めております。 関わる方の思いも出来る限り汲み取ることができるよう努めております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	全職員で支援内容や方向性についてチームで行っています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	学習の支援手法についてお子様一人一人の目標達成のために必要だと思われる方法で進めていくことで固定化されないように進めています。 例えば集団で行う、個別で行う、お子様同士で行うなど、またSSTでも話し合う・発表する・話を聞くなどを行っています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	生徒の目標に合わせて勉強時間・休憩時間・SSTの時間に個別・集団活動を組み合わせ実施をしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	職員ミーティングを行っています。 支援時間中も連携を意識し、生徒の学力向上に努めています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	終業時間の関係で翌日に行っています。 翌日が休みの職員がいる場合は他の職員への引継ぎや連絡ツールで記録を残します。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	社内連絡ツールを活用することで、記録を残しています。 どのような支援があったのかを共有し、生徒ごとに何を意識して勉強を教えるのかを考えています。	

	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	支援計画の更新時（3か月に1回）にモニタリングを行い、状況の確認を行った上で支援計画の更新をしています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4	0	自立支援と日常生活の充実のための活動では、自立や日常生活に必要な学力や社会的・生活的スキルを身に付ける活動を行っています。 創作活動では、作文・ペーパークラフトを作る・絵を書くことなどを行っています。 地域交流の機会の提供では、地域の方へ挨拶をしたり、地域の公園を活用して運動をしたりする活動をしています。 余暇の提供では、休憩時間中に他児と話したり、カルタなどのルールのあるゲームをしたりする活動をしています。 組み合わせる活動をすることで、生徒が飽きない工夫をしています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	年齢の低い生徒には、選択肢を出して選んでもらうことで自己決定ができるようにしています。 年齢の高い生徒には、自身で学習計画を立てることで自己決定の練習をしています。 SSTで話し合う時間では、自分の意見を言う機会を多く設けています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	参加をしています。 参加後は共有をすることで全職員が把握できるようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	支援体制を整えています。 また検査結果なども確認することで、支援に活かすことができているか。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	利用口を共有している学校もありです。 要望があればその学校にも共有をしたいと思っています。 学校の先生が生徒の様子を見に来ていただいたり面談をすることで情報共有を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	現在まだ要望がないため、実施ができていません。	要望があれば更に対応をしていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0	要望があったところへは情報提供を行っています。	要望があれば更に対応をしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	0	今年は実施が出来なかったのですが、今後は是非実施をしていきたいと考えています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	1	放課後児童クラブへのお迎え時に交流があります。	要望があれば更に対応をしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	積極的に参加をしています。 また同じ職員だけにならないように全職員が行けるよう配慮をしています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時・Line・電話などで共有を行っています。 共通理解があると感じています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	今年度から授業参観を始め、主に長期休暇に行っています。 希望の方は是非参加いただき、生徒の頑張っている様子を見てもらいたいです。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	丁寧な説明が出来るように努めています。 質問なども随時受け付けております。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	送迎時・Line・電話などで共有を行っています。 共通理解があると感じています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	支援計画の内容が保護者の要望に合うものになるように作成を行うようにしています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者の方から要望があった際は面談や送迎時に詳細を確認することで助言と支援を行っています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2	授業参観を行うことで保護者が関わられるような機会を提供しています。 現在は保護者同士の交流の要望があまりないため、要望が増えた際は検討をしたいと思います。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情があった際は迅速に状況の確認を行い、保護者の方へ対応を行っています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	「ていーせる通信」を毎月配信をすることで情報発信を行っています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報の取り扱いに注意を行っています。 個人情報を鍵付きの棚に保管を行っています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	意思の疎通や情報伝達の方法を電話・対面・Lineなど複数用意をすることで配慮をしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	保護者のニーズがある場合は対応を検討しています。	

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	毎月社内研修を実施することで訓練を行っております。マニュアルなどについては今後、施設内への掲示を行います。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	社内研修を通じて必要な訓練を行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	フェイスシートで確認を行い、詳細については契約時に保護者の方から確認をしています。	
	49	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	現在保護者の指示書をいただく例がないが、もしあった場合は対応していきたいと考えています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	マニュアルを作成し、安全管理を行っています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	安全確保について保護者の方と連絡をとることができるようにしていきます。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	ヒヤリハットをその都度、職員間で共有を行い毎月社長と他事業所に報告を上げることで再発防止に取り組んでいます。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	虐待防止研修を実施することで生徒に対しての支援を考えることができています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	身体拘束研修を行うことで、身体拘束に対する知識身に付けています。また、身体拘束を行う可能性がある生徒が入る場合は保護者に確認を行います。	